

公共施設マネジメント通信 vol.5

平成 29 年度

平成 30 年 3 月 29 日発行

第 4 回まちづくりワークショップを開催しました！

小田原市 企画部

公共施設マネジメント課

鴨宮地区

進行：工学院大学 建築学部
遠藤 新 研究室

意見交換の概要

日時：12月12日(火)18:30~20:30

参加者：15名

場所：川東タウンセンターマロニエ 202 会議室

傍聴者：1名



第4回テーマ

大学研究室が作成した公共施設の再編構想案（修正案）について

意見交換の内容

大学研究室が、第3回ワークショップの意見交換を受けて修正した公共施設の再編構想案について意見交換を行う。

当日の流れ

○学生による分析・提案の説明（60分）

○意見交換・発表（60分）

■大学の提案内容

☆再編の構想案

前回の議論を受け

- ・施設ごとに要望を整理
- ・都市構造や人口推移等から分析
- ➔ ブラッシュアップした構想案を作成した。

①豊川小学校周辺エリア

- ・分館はホール機能を残し、その他を複合化。
- ・支所のサービスをコンビニや郵便局に委託し、跡地を駐車場にする。
- ・分館の機能を保育園に複合化、又は保育園と小学校を複合化し、跡地を貸し付ける。
- ・小学校の特別教室を地域住民に開放する。
- ・給食調理施設は機能を集約する。

②鴨宮中学校周辺エリア

- ・市民集会施設は利用率の高いホール機能を残し、その他を複合化。
- ・小学校、中学校、幼稚園、市民集会施設を複合化し、跡地はグラウンド等として活用。

③川東タウンセンター「マロニエ」周辺エリア

- ・利用率の低い貸室をテナントスペースに転用する。
- ・子育て支援機能を強化し交流促進。
- ・運動広場は防災拠点として残すか、高齢者福祉施設に貸付する。

■参加者の意見

☆再編の構想案に対する意見

- ・施設へのアクセスの良さは、どの構想案においても重要。

①豊川小学校周辺エリア

- ・利用率の高い分館のホール機能は残して欲しい。駐車場は必要。
- ・郵便局で対面手続きができるなら、高齢者は安心。
- ・小・保の複合化は将来は可能だが、児童数が増加しており時期尚早。
- ・給食機能を統合するのは良い。
- ・豊川地区は人口が増加しているため、再編時期は今ではないのでは。

②鴨宮中学校周辺エリア

- ・学校を利用する事には抵抗がなく、地域への開放は可能だと思うが、鍵の管理が面倒そうである。またセキュリティ対策が心配。
- ・教育施設を集約するにはスペースが不足するのではないか。駐車場や送迎の待機場所も必要だ。
- ・教育施設を集約し充実化するのは地域の魅力UPになる。
- ・市民集会施設は、ホール機能の利用率が高い。駐車場も必要。

③川東タウンセンター「マロニエ」周辺エリア

- ・利用率の低い貸室は、今のニーズに合うように転用・拡充するべき。
- ・運動広場の貸付について、貴重な空地が減ってしまうため、反対。貸付のニーズがあるのかも疑問だ。



意見交換の概要

日時：2月5日(月)18:30~20:30 参加者：13名
場所：梅の里センター 大会議室 傍聴者：2名



第4回テーマ

これからの暮らし方と公共施設のあり方について

意見交換の内容

大学研究室が、これまでのワークショップでの議論を受けて作成した提案に対して意見交換を行う。

流れ

- 大学からの提案の説明（60分）
- 意見交換・発表（60分）

■大学の提案内容

☆公共施設の使い分け

テーマ型

- ・施設の数には減るが、現状よりも拠点性の高い施設として使用する提案。
- ・駐車場が充実、又は公共交通機関が隣接しているアクセスの良い場所。

①スポーツ・子育ての拠点

- ・上府中公園に子育て世代が利用しやすい施設を設ける
- ・公民連携を模索し民間が整備運営。

②歴史・文化の拠点

- ・梅の里センターを、住民が使いやすい施設にリノベーションする。
- ・外部への発信の拠点として整備。

③地域活動の拠点

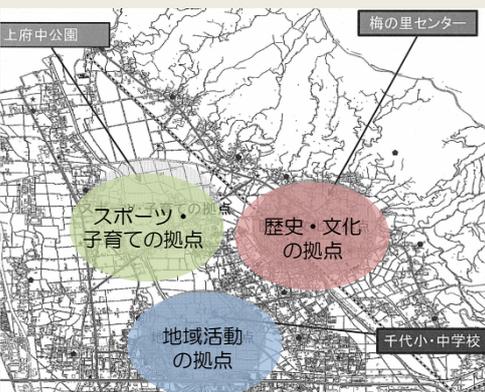
- ・上府中支所、分館の建物・跡地を活用し、図書機能を持つ場所とする。
- ・小中学校と地域連携の場所を創出。
- ・間の畑を活用できないか。

歩いていける地縁型

- ・地区公民館を活用した整備の提案。

☆情報共有の進め方

- ・地域情報アプリ（スマホ向け）
- ・地域情報サイト



■参加者の意見

☆公共施設の使い分け

テーマ型

- ・3つの拠点ができることで、地域活動が活発になると思われる。
- ・3つの拠点をバスが運行する等、アクセス面の充実が必要である。

①スポーツ・子育ての拠点

- ・屋内施設の必要性を感じる。
- ・ゆっくり飲食ができる場があると、人が集まるのではないかと。

②歴史・文化の拠点

- ・梅や遺跡、相撲など外部へ発信できるコンテンツがある。
- ・下曽我駅から近いので、観光の拠点になり得る。
- ・シェアサイクルを設置し、色んな所へ行ってもらう仕組みづくり。

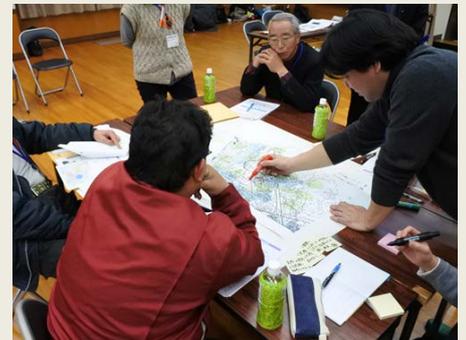
③地域活動の拠点

- ・地域で作る図書館（古本を寄付）
- ・学習室やパソコンがあれば、子どもたちが使うことができる。
- ・下曽我や曾我から少し遠い。

☆情報共有の進め方

地域情報アプリ・サイト

- ・誰がアプリやサイトを管理するのか。
- ・お年寄りには、スマホやWEBを使わない。
- ・施設毎に予約形式が異なり不便。



【問い合わせ先】

小田原市企画部公共施設マネジメント課
TEL：0465-33-1305 FAX：0465-33-1286
Email：shisetsu@city.odawara.kanagawa.jp
〒250-8555 小田原市荻窪 300 番地